

高等教育機関における 2015 年のオンライン講座受講者数、  
前年比 3.9%増で 13 年連続増加 (2 月 9 日)

オンライン学習コンソーシアム (Online Learning Consortium : OLC) は 2 月 9 日、バブソン調査研究グループ (Babson Survey Research Group) が OLC やピアソン社 (Pearson) などと協力して作成した、高等教育機関におけるオンライン講座受講状況に関する調査報告書「オンライン成績表 ～米国におけるオンライン教育の追跡～ (Online Report Card: Tracking Online Education in the United States)」を公表したことを明らかにした。これによると、2015 年にオンライン講座を少なくとも 1 科目受講していた学生の割合は、前年比 3.9%増であったという。また、増加率は、私立非営利大学で 11.3%であった一方で、営利大学では 2.8%減であるなど、セクタによって大きな差があることが判明した。同報告書の共同執筆者であるバブソン調査研究グループのエレーン・アレン氏 (I. Elaine Allen) によると、オンライン講座受講者数は 13 年連続で増加しているという。それ以外の主要な調査結果は以下の通り。

- ・オンライン講座を少なくとも 1 科目受講する学生は、大学生全体の 28%に相当する 582 万 8,826 人で、前年比 21 万 7,275 人増。
- ・2014 年秋学期にオンライン講座を受講した学生約 580 万人のうち、全受講科目がオンライン講座であった学生は約 285 万人。
- ・オンライン講座受講生の割合が最も高いセクタは公立大学で、学士課程在籍学生の 72.7%と大学院在籍学生の 38.7%がオンライン講座を受講。
- ・オンライン学習が大学の長期戦略において重要と回答した最高学務責任者の割合は、前年の 70.8%から 63.3%に減少。

なお、本報告書は、<<http://onlinelearningsurvey.com/reports/onlinereportcard.pdf>> からダウンロード可能。

Online Learning Consortium, Babson Study: Distance Education Enrollment Growth Continues  
[http://onlinelearningconsortium.org/news\\_item/babson-study-distance-education-enrollment-growth-continues-2/](http://onlinelearningconsortium.org/news_item/babson-study-distance-education-enrollment-growth-continues-2/)